# News Release

2026年9月15日

伊藤組土建株式会社

社会とくらしのパートナー
伊藤忠エネクス株式会社

## 北海道におけるリニューアブルディーゼル配送拠点の開設および伊藤組土建での利用開始について
## ～北海道内の土木建設分野における脱炭素化を推進～

伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田畑信幸、以下「伊藤忠エネクス」）は、北海道における脱炭素化の推進に向け、リニューアブルディーゼル（Renewable Diesel、以下「RD」）の配送拠点を開設しました。あわせて、RDの導入事例として、伊藤組土建株式会社（本社：札幌市中央区、代表取締役社長：大谷正則、以下「伊藤組土建」）が、主に北海道開発局が発注する札幌市近郊の工事現場などでRDの利用を開始しましたので、お知らせします。

＜伊藤忠エネクスの取り組み：北海道におけるRD配送拠点の開設＞

伊藤忠エネクスは、グループ会社である伊藤忠エネクスホームライフ株式会社（本社:東京都中央区、代表取締役社長：若松京介）の北海道支社における燃料供給機能を活用し、北海道内のRD需要に対応可能な貯蔵・出荷体制を整備するとともに、ミニローリーによる現場への配送を開始します。北海道では、広域に点在する建設現場や重機・発電機などへの燃料配送ニーズがあります。伊藤忠エネクスは、こうした地域特性に対応した配送体制を道内に整備することで、北海道内の土木建設会社をはじめとする幅広い需要家に対し、脱炭素燃料の利用機会を提供します。

伊藤忠エネクスが取り扱うRDは、廃棄物・残渣油脂を原料に水素化精製した次世代バイオ燃料です。既存の車両・建設機械・発電機など、軽油を使用する機器にそのまま使用することができる「ドロップイン」燃料であり、温対法・省エネ法上、軽油と比較して$CO_2$排出量を100%削減したものとして扱われます。伊藤忠エネクスは、軽油を混和しない単一品の「RD100%」と、軽油に40%のRDを混和した「RD40%（FINE DIESEL）」の2種類を展開しています。いずれも、国土交通省の新技術情報提供システム「NETIS」に登録（NETIS登録番号：KT-260011-A）されており、公共工事における活用拡大も期待されます。さらに、RDの流動点はマイナス30℃以下まで低いため、北海道のような寒冷地においても、冬季を含め年間を通じて安定的な運用が可能です。

＜伊藤組土建の取り組み：RD利用開始による脱炭素化の推進＞

伊藤組土建は、2023年に北海道の建設業で初めてSBT認定[※1]を取得し、2030年までに温室効果ガス排出量を2022年比で50%削減する目標を掲げています。その達成に向けた取り組みの一環として、2025年9月には、伊藤忠エネクスが供給するRDの工事現場での使用を試行しました。

今回はその取り組みをさらに進め、伊藤忠エネクスが構築した北海道内のRD配送体制を活用し、北海道開発局が発注する札幌市近郊を中心とした複数の工事現場にRDを導入します。建設機械や発電機など、軽油を燃料とする機器にRDを使用することで、工事現場における温室効果ガス排出量のさらなる削減を図ります。

札幌市近郊の工事現場

建設機械に RD を給油する様子

＜両社の今後の展望＞

伊藤忠エネクスグループは、経営理念「社会とくらしのパートナー」のもと、エネルギー企業としてエネルギーの安定供給の責任を果たすとともに、地域に根ざした供給・配送体制の整備を通じて、低炭素社会の実現、環境負荷低減、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

伊藤組土建は、事業活動に多くのエネルギーを使用する建設業として、環境負荷の低減を重要な責務の一つと考えています。今回の RD 導入も、脱炭素や資源循環を着実に進めるための取り組みの一つと位置づけています。

両社は今回の取り組みを通じて、北海道における脱炭素燃料の利用拡大と持続可能な社会の実現に向け、連携を深めてまいります。

※1　SBT とは Science Based Targets の頭文字を取ったもので、日本語では「科学的根拠に基づく目標」などと訳されます。産業革命前と比べた世界の平均気温の上昇を 1.5℃未満に抑えるという温室効果ガス排出削減目標のことです。SBT 認証を取得することは、企業がパリ協定に準じた温室効果ガスの排出削減目標を設定していることを示しています。

（ご参考）2025 年 09 月 29 日プレスリリース
北海道初、次世代バイオ燃料「リニューアブルディーゼル」を土木工事現場で使用

【本リリースに関するお問い合わせ先】
伊藤忠エネクス株式会社
産業ビジネス部門　産業ビジネス開発部　環境商材販売課
Email：enex_hvo@itcenex.com

伊藤組土建株式会社　サステナビリティ推進室
Email：Sustainability@itogumi.co.jp